



「地域学校協働活動推進員」って知っていますか？



▲地域のボランティアさんと一緒に

学校と地域の橋渡しをする「地域学校協働活動推進員」
(以下、「推進員」)さん。現在、市内各小中学校に1〜3
人が配置されています。その推進員さんに聞きました。



渡辺 あかねさん

1. 配置校はどこですか？

吉木小学校です。

2. 推進員になったきっかけは？

主任児童委員をやっていたため声
がかかったのだと思います。学校や
子どもたちのためになるならと思い、
お受けしました。

3. 主にどんな活動(具体的に)を
していますか？

子どもたちの体験活動(芋苗植え、
芋ほり、まちたんけん、水辺の観察
など)の支援を行っています。

また、推進員活動を紹介するチラシ
を作成して地域の人たちや保護者
に配布しました。

4. 活動してみてもうれしかったこと
は？

子どもたちと直接触れ合う時間が
持てること、またうれしそうに顔や、
ときには真剣な顔が見られることで
す。

5. 活動してみてもわかったことは？

推進員の認知度はまだ高くありま
せんが、子どもたちのために活動し
ています。今後も活動を継続してい
くために、後につく人材や、地域ボ
ランティアを担う人が増えることを
願っています。

6. 将来、やってみたい活動は？

学校や子どもたちが必要として
いることを見つけて、新しいことに
も挑戦してみたいです。

7. 地域・学校の声

子どもたちが、より主体的に活動
できるように、推進員が中心となっ
て、学校と地域をコーディネートし
てくださるのでありがたいです。ま
た窓口が一本化していることも大き
なメリットだと感じています。

(吉木小学校 新田梨津子 主幹教
諭)